

+++++
「植物と人々の博物館メールマガジン」 第10号 2016年1月6日発行
+++++

新年あけましておめでとうございます。本年も引き続きご最頂に願います。

山の畑はとても複雑な環境条件にあります。特に日照時間、夏はあまり気にならないのが、冬にはとても顕著な差がでます。ムギジの畑は陽当たりが良く、冬でもすぐに霜が解けますが、ハルマジの畑は日照時間がごく短く、ほとんど霜に覆われます。今年はムギジとハルマジの比較をしてみています。

大麦はムギジに適期に播種したのですが、暖冬で育ちが良すぎます。遅く播いた、ハルマジの団子麦（瀬戸内産）とムギジの小麦2品種（岩手で育種）は暖冬のおかげでよく発芽して育ち始めています。

それでも、アキ子さんには遅く播いたものはだめだよとあっさり言われています。さて、どうなることか？

会員および配信を希望される方に公開活動ニュースなどをお送りします。ご関心のあるご友人に転送などご紹介いただき、顔のない薄情な「マスコミ」ではなく、顔見知り信頼の「ロコミ」で伝達していただけると嬉しいです。連絡先は下記メールアドレスです。

展示解説・作業予定日：1月8日（金）、15日（金）、30日（土）。2月20日（土）ほか。
参加希望者は木俣にメールしてください。 kibi20kijin@yahoo.co.jp

1. 日本村塾 Nihonmura College for Environmental Studies

伝統知を学び合うことで、「素のままの美しい暮らし」（Sobibo）を勧める。

1) 扶桑くにゼミ第3回

日時：2～3月予定、小金井、読書会：推薦図書：『銃・病原菌・鉄』、上1900円、下1900円、

ジャッレド・ダイヤモンド著、草思社、ほか検討中。ご意見があれば、お知らせください。

2) 自給農耕ゼミ第4回

3～4月未定、藤野、世話人は末村さん、宮本さん。

パーマカルチャーなど、話題にしてはいかがですか。実習は藤野です。ご意見をください。

3) 民族植物学ゼミ第3回

日時：5月4日（水・祝）小菅村 植物と人々の博物館

公開解説と読書会、小展示の企画。推薦図書：取り上げたいものがあればお知らせください。

4) 自給農耕ゼミ第5回

日時：5月14日（土）小菅村 雑穀栽培講習会

日本で栽培されている雑穀6種とアマランサス、キヌアの種子が必要な方には少量なら差し上げられます。

お知らせください。

2. ミューゼス研究会（トランジション小菅）

1月予定 小菅村

3. 自然文化誌研究会第12回通常総会

2月20日（土）15：00～ 小菅村

4. のびと講座『味噌づくり』

3月12～13日 小菅村

5. 伝統智研究会

日時：1月28日（木） 18:00～ 終了後に新年会を予定、神田のエコプラス事務所

6. 国際シンポジウム 持続可能な社会に向けた場の教育—知っているから行動へ

日時：1月23日（土）～24日（日）場所：早稲田大学（詳細は添付のチラシにあります）

主催：エコプラス

趣旨：環境教育、野外教育、冒険教育、持続可能性教育、社会教育、開発教育、国際理解、森のようちえん、

地域づくり、地方再生、あちこちで地域とか場とかが議論されている。その地域や場を舞台として活動する人々を

ネットワークし、複合的継続的な学びの方向を探る。

*エコプラスは自然文化誌研究会と伝統知を共同研究している親しいNPO。

自然文化誌研究会は『冒険と子どもたち～冒険学校の歩み』を発行したので、当日、希望者には差し上げます。

報告：

1) 森とむらの図書室の蔵書

小菅では、山田先生、若林さん、石川さんほかから寄贈いただいた図書、塚原文庫、木俣文庫（環境教育関係）を整理しています（担当、木俣、黒沢さん、池田さん）。原沢文庫は藤野倶楽部の安心農園無形の家に藤野分室（担当、宮本さん、末村さん、松浦さん、能勢さん）を置き、順次移動しています。

2) 展示「雑穀街道」は藤野で継続しています。

場所：相模原市緑区牧野 藤野倶楽部百笑の台所に隣接した結びの家。

3) 民族植物学ノオト

第9号雑穀特集英文は編集中です。第10号は2016年3月頃締切で原稿を募集しています。e-メールなどで木俣までお申し込みください。バックナンバーは下記のHP 植物と人々の博物館（ミュージアムグッズ）で読めます。冊子版の第1号はなくなり、第2～6号は若干の在庫があります。第7～8号はまだあります。

.....
植物と人々の博物館は、山梨県小菅村で行っているエコミュージアム日本村（トランジション小菅）のコア博物館です。

これはNPO自然文化誌研究会のボランティアな公民館活動プロジェクトで、小菅村と東京学芸大学の社会連携協定に協力しています。ご興味のある方が山村の素のままの美しい暮らし sobibo や伝統文化を村人から一緒に学び、継承するプロジェクトに参加してくださいと、とてもうれしいです。

自然文化誌研究会が国内外の調査研究によって収集した民具、雑穀標本、図書、雑穀栽培見本園などを山梨県の山村 小菅の暮らしと関係づけて展示、整理、解説しています。雑穀栽培講習会、日本村塾3ゼミ（自給農耕、民族植物学、扶桑こく）、環境学習セミナーなども開催しています。雑穀街道（さあ山村）を、都市から農山村に暮らし向きを求め、鎌倉街道（いざ鎌倉）と反対方向に創ることを提案しています。

現在の日常活動 ボランティア研究員として、協力していただけるとうれしいです。

1. 雑穀栽培見本園の管理
2. 民具展示の整理、特別展の企画・作製、希望により解説もします。
3. 雑穀標本の整理

4. 農・林学、植物、環境、教育、人類学、およびインド・タイ・中央アジアほか欧米諸国の関係図書の整理、番号付をしています。希望により閲覧できます。

自然文化誌研究会（東京都日野市）：代表 中込卓男、副代表 中込貴芳、小川泰彦
ミュージアム研究会／トランジション小菅（山梨）：代表 青柳諭、副代表 亀井雄次
事務局：黒澤友彦（小菅村在住） npo-inch@wine.plala.or.jp
植物と人々の博物館：館長 木下善晴（小菅村在住）
日本村塾生・研究員：木俣美樹男（東京）、西村俊（石川）、藤盛礼恵（千葉）ほか
連絡先：木俣美樹男 kibi20kijin@yahoo.co.jp
ホームページ：植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>
自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>
生き物の文明への黙示録 <http://www.milletimplic.net/>
